

社会学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

井上 慧真

1. 授業の概要(ねらい)

本演習は「若者」という視点から、日本社会の様々な問題を社会学的に考えることを目標とします。4年次に取り組む卒業論文・卒業研究に向けて取り組むテーマを発見し、報告すること、また他の人の報告についてともに考えることを通じて、私たちの生きる現代社会の問題についての理解を深めます。

2. 授業の到達目標

各自が関心を持ったテーマについて卒業論文・卒業研究に取り組むために必要な知識を身に付け、討論やグループ活動を通じて理解を深めること。

3. 成績評価の方法および基準

出席および議論への参加(40%)、報告(40%)、期末レポート(20%)

4. 教科書・参考文献

教科書

濱口桂一郎著 『若者と労働―「入社」の仕組みから解きほぐす』 中央公論新社、2013年

参考文献

筒井淳也著 『結婚と家族のこれから―共働き社会の限界』 光文社、2016年

水無田気流著 『「居場所」のない男、「時間」がない女』 日本経済新聞社、2015年

5. 準備学修の内容

教科書や参考書(「4.教科書・参考書」参照)のなかから関心のあるテーマを選び、精読するとともに必要に応じて関連する文献・論文・データ・記事なども参照し、報告資料やレポートを作成する。

6. その他履修上の注意事項

- (1)必ず初回の授業に出席して下さい(やむを得ない事情で欠席する場合は連絡すること)。
- (2)成績評価は授業に継続的に参加し、報告や質問を行ったかを重視します。
- (3)病欠や就職活動による欠席など、やむをえない理由(学生便覧に掲載のあるもの)以外で報告を欠席した場合、単位を認定しません。またやむをえない理由による欠席であっても、必ず事前に連絡をして下さい(事前連絡なく欠席した場合、単位を認めないことがあります)。電車の遅延などやむをえない理由を除く遅刻は、減点の対象になります。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション・報告担当の割り振り |
| 【第2回】 | 報告と議論(1) |
| 【第3回】 | 報告と議論(2) |
| 【第4回】 | 報告と議論(3) |
| 【第5回】 | 報告と議論(4) |
| 【第6回】 | 報告と議論(5) |
| 【第7回】 | 報告と議論(6) |
| 【第8回】 | 報告と議論(7) |
| 【第9回】 | 報告と議論(8) |
| 【第10回】 | 報告と議論(9) |
| 【第11回】 | 報告と議論(10) |
| 【第12回】 | 報告と議論(11) |
| 【第13回】 | 報告と議論(12) |
| 【第14回】 | 報告と議論(13) |
| 【第15回】 | まとめと期末レポートの準備 |